

K. K. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後、留学先の大学から送られてくる書類を記入したり、VISA など留学に必要な手続きを行いました。また、前年度に留学されている先輩に連絡をとり、現地の状況を聞いたり、留学のアドバイスをいただきながら、渡米の準備を進めました。6 月初旬の出発だったので、それまではアルバイトをしてお金を貯めたり、留学に役立つような授業に出席したりしました。英語の勉強については、ラジオの英語ニュースを聞く程度でした。

② 語学研修 (ESL, Academic Skills Study) 期間

ESL 期間中の授業は土日以外、毎日朝 9:00 からお昼をはさんで、夕方の 16:00 まで 4 科目(Speaking、Reading、Writing、Communication Skills)ありました。日本人 10 人のクラスで、楽しく、リラックスした雰囲気の中で授業を受ける事ができました。演劇鑑賞のため、先生方の運転でカナダへ 1 泊 2 日の旅行に行ったり、2 泊 3 日のホームステイをしました。宿題は毎日ありましたが、自由な時間も多くありました。休日はプログラムの Student Assistant が、美術館やモールなど、いろいろな所へ連れて行ってくれました。また、彼女たちと会話をする時間が毎日 1 時間もうけられ、idiom や slang などを教えてもらいました。ESL 期間中は心理的にも身体的にもゆとりがあり、アメリカの生活に慣れるためのよい 2 ヶ月間だったと思います。

③ 正規科目履修期間

・ 履修科目の決定

アドバイザーの先生が親身になって相談にのってくださり、レベルなどを考慮に入れながら、一緒に話し合っただけで決定しました。開講している科目や、自分のレベルに合ったものを選んでいくと、自然と数は限られてきてしまいましたが、女性学や社会学など、以前から興味があった分野の科目を履修する事ができたのでよかったです。また、Chatham の周りには大学が多く、それらの大学との cross register が可能だったため、春学期には他大学の授業も考慮に入れ、選択の幅が広がりました。私は秋学期に ESL と academic のクラスを 2 つ、春学期は ESL と academic のクラス 2 つに加え、演劇の授業を履修しました。

・ 授業、レポート、定期試験

Chatham の授業は少人数制で、どのクラスも最大で 30 人程度だったため、先生との距離が近く感じられました。先生方は質問にも快く応じて下さいました。また、春学期には University of Pittsburgh のクラスを受講しました。レベルは高かったけれど、少し違った授業の雰囲気を味わうことができ、楽しかったです。どのクラスも課題が多く、特に reading の量には悩まされました。定期試験は基本的に mid term と final exam がありまし

たが、先生によってはそれ以上の試験をもうける場合もありました。レポートは定期試験に代わる場合もありましたが、クラスによっては両方課されることもありました。

④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

ISA (International Student Association) と JSS (Japanese Speaking Society) というクラブに所属していました。どちらのクラブとも、活動は頻繁ではありませんでしたが、ひな祭りやお花見など、日本に関連した行事も行われました。また、日本語を勉強する学生をサポートするボランティアをしていました。

⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

1年を通して、寮の同じ部屋に住みました。4つある寮の中から留学前に希望を聞かれましたが、あまり反映されなかったように思います。私の住んでいた寮は、収容人数30人程の小さな寮だったので、寮生間の交流がしやすかったです。部屋は1人～4人部屋までありました。私は2人部屋で、Seniorの中国人とシェアしました。3階建ての寮は、1、2階は部屋にトイレとバスルームが備え付いていましたが、3階は共同でした。また地下に共同のキッチンと洗濯機がありました。Study Roomにはパソコンが8台ありました。クーラーがないため、夏はとても暑かったのを覚えています。一方、冬は暖房がよくきいていたため、とても暖かかったです。

⑥ 長期休暇の過ごし方

アメリカ国内を旅行していました。ESL 期間中の5日間の連休は2泊3日でボストンへ、2週間の夏休みはロサンゼルス、サンフランシスコと西海岸へ行き、新学期前のいいリフレッシュになりました。Thanks giving はアメリカ人の家族の家でお世話になりました。冬休み前半はバスでフロリダへ行き、ホームステイをしました。クリスマスは友達の家パーティーに招待してもらい、後半はNYCを旅行しました。Chatham は長期休暇中も、届けを出せば寮に滞在できたので、特に困ることはありませんでした。

⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

私は卒業後、就職する予定がなかったので何もませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

この留学で私はいろいろな事を体験し、学び、成長できたと思います。いろいろな国に友人ができ、異文化や価値観の違い、様々な考え方や生き方を学びました。毎日、自分の世界がどんどん広がっていく事がとても楽しかったです。本当に良い経験をさせていただいたと思います。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

普段の生活でそこまでつらい思いをする事は特にありませんでした。文化の違いに多少戸惑いながらも、時間が経つうちに自然に適応できました。けれど、勉強だけは努力する以外にどうしようもありませんでした。同じ量の Reading を読むためや、同じ枚数の paper を書くために、私はアメリカ人の倍以上の時間を費やさなければなりません。定期試験の時は徹夜しなければならない事もたびたびあり、課題に終わりが見えず、泣きたくなる時もありました。そんな時は初心に戻って、自分のモチベーションを上げました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

感情表現がとてもストレートなことや、あいまいな意見を嫌うこと。日本のように、言葉にしなくても分かり合えるという事はほぼありませんでした。知らない人にでも "Hello" とあいさつすること。パソコンをリュックの中に入れて、どこにでも持ち運ぶこと。学生の年齢層が広いこと。自己主張が強いこと。人と違うことが cool と思う感覚が素敵だと思いました。そして、アメリカは本当に自由な国であること。誰も他人の目を気にすることなく、自分の好きなことを自分の好きな時にしていました。生活していてとても気持ちよかったです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

伝統と趣きのある校舎。自然に囲まれたキャンパス。優しく、フレンドリーな先生と学生。勉強に適した環境も、買い物や遊びに便利な場所も、私は Chatham の全てが大好きで、悪い点はほとんど思い浮かびません。Chatham に留学できて本当によかったと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは持参しました。学校や寮のパソコンは日本語がタイプできなかったのも、自分の部屋に日本語を使えるパソコンがあるのは、日本と連絡をとるためにも必要でした。また、家族への電話はスカイプで行いました。国際電話も無料でかけられるので便利でした。お菓は自分に合ったものを持っていると安心です。

③ 語学力の向上等、留学の成果

1年間を通して、ほぼ毎日英語と接する機会があったので語学力は自然に向上しました。特に listening と speaking 力は自分でも成長がよく分かりました。以前よりも会話がスムーズになり、CNN などのニュースも理解できるようになりました。また、膨大な量の reading と paperのおかげで、reading と writing 力もついたと思います。また、この留学を通して、自文化中心主義的な考えをある程度捨てる事ができました。日本を中心として多文化を評価するのではなく、日本文化を含め、1つ1つの文化を対等に見る力がついたと思います。そして、自分の意志や意見を明確にしなければ、相手に伝わらないため、自分から行動や発言する積極性も身に付きました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留學生活では思いもよらないハプニングがあると思います。また、授業についていけずに、落ち込んだり悩んだりする事もあると思います。そんな時こそ自分に自信を持って下さい。留學しようと決意した勇氣、母国を離れて、異国で生活する度胸、アメリカ人の中に混じって同等に学ぶ自分。1年間はあっという間です。小さい事でくよくよしている時間は、後から後悔しても戻ってこないとても貴重なものです。留學は無敵大の可能性を秘めていますが、その可能性をどう生かすかは自分しだいだと思います。できる限り多くのものを自分の目を見て、自分の体で体験してきて下さい。そして、それらをどんどん自分の成長に生かして下さい。

N. H. 英語英文学科・4年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

決定してから、出発するまで非常に長かったです。アルバイトをしてお金をためたり、NHKのラジオ英語講座を聴いたり、TOEFLの問題集を解いたりしていました。

② 語学研修 (ESL, Academic Skills Study) 期間

アメリカに到着してから2ヵ月半程は、ESLを受けました。勉強はそれ程忙しくなかったので、のんびりと過ごしていました。私にとっては、初めてのアメリカ生活だったので、この期間にアメリカでの生活リズムを作り、生活に慣れることができましたと思います。

③ 正規科目履修期間

- ・ 履修科目の決定

ESL 期間中にアドバイザーの先生と相談し、以前の留学生の経験や自分の興味などを踏まえ決定しました。

- ・ 授業、レポート、定期試験

秋学期は、授業に慣れるまで本当に忙しかったです。特に授業中生徒の発言が聞き取れず、苦勞しました。先生や周りの友達に助けて頂きながら乗り越えました。レポートは、とてもたくさんありますが、慣れてくるとスピードも上がるので、たくさん書けるようになりました。定期試験は、先生と話し合い辞書を使うことを許可して頂いていました。

④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

隣のピッツバーグ大学の JSS という日本語の会話のクラブに何度か参加しました。また、他にもイベントがあると参加しました。クラブやボランティアは特にしていません。

⑤ 現地での住まい (語学研修期間、正規科目履修期間) について (寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など)

語学研修から正規科目履修の最後まで約1年間ずっと同じ部屋に住んでいました。2人部屋で、十分広く、バスルームは他の部屋と共同でした。とても居心地がよかったです。

⑥ 長期休暇の過ごし方

ボストン、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ニューヨーク、シカゴ、ワシントン DC へ旅行に行きました。また、旅行していない期間は寮に留まって近くの友達とショッピングやピッツバーグ観光をしていました。

⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

リクナビに登録する以外何もしませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

今思い返してみると、1年間全てが楽しかったです。しかしやはり授業を受け、友達と話し、寮でのんびりするというような日常的なことが一番思い出に残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

やはり正規授業が始まると、勉強についていくのが大変で、つらかったです。私は外出が好きなので、休日を返上してまで勉強しなければならないというのが辛かったです。また、私は英会話の勉強をほとんどせずに留学したので英語では苦勞しました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

授業中、生徒の発言が多く、自分の意見を主張する人が多いことに驚きました。そして、自分から主張しないと何も相手に伝わらないということを学びました。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、正規科目履修中も ESL が取れることです。ESL は、他の授業に比べて課題も少なく内容も易しいので、とても楽しみな時間でした。また、ESL を履修したおかげで十分な単位を取得することができました。また、ピッツバーグは近くにショッピングモールや大学などがあり、休日をととても楽しめました。悪かった点は、特に思いつきません。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは持って行ってとても役立ちました。ほとんどのものは、アメリカで揃うのですが、下敷きと蛸足ハンガーはアメリカで見かけなかったもので、持って行ってよかったです。

③ 語学力の向上等、留学の成果

語学は、特に日々の生活の中で Listening と Writing 力がついたように感じます。また、語学以外の面では留学前より自分の意見を主張できるようになったと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は本当に楽しいです。そして他の国に1年間住み、授業を受けるという生活を通して、新たな発見がたくさんあります。だから毎日が刺激的です。この留学を通して、アメリカへの固定観念がなくなり、日本や自分自身を客観的に見れるようになったと思います。私は、留学することを強くお勧めします。ぜひ、留学を楽しんでください。